

人文社会論叢

人文科学篇 第32号



弘前大学人文学部

2014

執筆者紹介

関根 達人（文化財論講座／考古学）

松井 太（国際社会講座／内陸アジア史）

李 梁（思想文芸講座／中国思想史）

編集委員（五十音順）

◎委員長

足達 薫

飯島 裕胤

大倉 邦夫

奥野 浩子

河合 正雄

須藤 弘敏

福田 進治

◎松井 良太

◎保田 宗良

李 梁

渡辺 麻里子

人文社会論叢（人文科学篇）第三十二号

二〇一四年八月二十九日

編集 研究推進・評価委員会

発行 弘前大学人文学部

036-8560 弘前市文京町一番地

<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/>

印刷 青森コロニー印刷

030-0943 青森市幸畑字松元62-3

弘前大学人文学部紀要『人文社会論叢』の刊行及び編集要項

平成23年1月19日教授会承認

平成26年5月21日最終改正

この要項は、弘前大学人文学部紀要『人文社会論叢』（以下「紀要」という。）の刊行及び編集に関して定めるものである。

- 1 紀要は、弘前大学人文学部（以下「本学部」という。）で行われた研究の成果を公表することを目的に刊行する。
- 2 発行は原則として、各年度の8月及び2月の年2回とする。
- 3 原稿の著者には、原則として、本学部の常勤教員が含まれていなければならない。
- 4 掲載順序など編集に関することは、すべて研究推進・評価委員会が決定する。
- 5 紀要本体の表紙、裏表紙、目次、奥付、別刷りの表紙、研究活動報告については、様式を研究推進・評価委員会が決定する。また、これらの内容を研究推進・評価委員会が変更することがある。
- 6 投稿者は、研究推進・評価委員会が告知する「原稿募集のお知らせ」に記された執筆要領に従って原稿を作成し、投稿しなければならない。「原稿募集のお知らせ」の細目は研究推進・評価委員会が決定する。
- 7 論文等の校正は著者が行い、3校までとし、誤字及び脱字の修正に留める。
- 8 別刷りを希望する場合は、投稿の際に必要な部数を申し出なければならない。なお、経費は著者の負担とする。
- 9 紀要に掲載された論文等の著作権はその著者に帰属する。ただし、研究推進・評価委員会は、掲載された論文等を電子データ化し、本学部ホームページ等で公開することができるものとする。
- 10 紀要本体及び別刷りに関して、この要項に定められていない事項については、著者が原稿を投稿する前に研究推進・評価委員会に申し出て、協議すること。

附 記

この要項は、平成23年1月19日から実施する。

附 記

この要項は、平成23年4月20日から実施し、改正後の規定は、平成23年4月1日から適用する。

附 記

この要項は、平成24年2月22日から実施する。

附 記

この要項は、平成26年5月21日から実施する。

目次

【論文】

白鹿洞書院と詩跡

……………李 梁 1

アイヌの宝物とツクナイ

……………関根 達人 1

敦煌諸石窟のウイグル語題記銘文に関する劄記（二）

……………松井 太 27

Studies in the Humanities

CULTURAL SCIENCES

Number32

LI LIANG The "*Shuyuan*" of Bailudong (白鹿洞書院) and the poetic site 1

SEKINE Tatsuhito The Treasure of Ainu and Custom of *Tsukunai* 1

MATSUI Dai Notes on the Old Uigur Wall Inscriptions in the Dunhuang Caves (Ⅱ) 27

Faculty of Humanities
Hirosaki University
Hirosaki, Japan

ISSN 1344-6061